

実力派セラピストになれる！

筋解剖学 レッスン

第二回

5種類のエフルラーージュで
結果の出せるセラピストに

触覚を司る 「皮膚」の役割

今回のテーマ「皮膚」は、五感の中でも「触覚」と親密に結びついている器官。セラピストはクライアントの身体全体の健康のために施術を組み立てますが、実際には筋肉にも、内臓にも、脳にも、直接に触れることはできず、必ず皮膚とのコンタクトを含む施術となります。また皮膚は、生理学的な側面以外にも、心理学的な側面における興味深い対象でもあります。

前号の記事では、本格的なオイルマッサージのプロである「マッサージセラピスト」の実際の施術の現場についてレポートしました。どうやってクライアントの主訴に対する筋解剖学的な分析をするのか、症状のアセスメントの方法、プランの実例をご紹介します。読者の方々に反響を頂きました。

エステティシャンともアロマセラピストの仕事とも違う範囲の、オイルマッサージ最先端のアメリカ・NYの本場のマッサージセラピストの仕事……つまり、筋肉や筋膜に起こる症

マッサージセラピスト・國分利江子さんが、
オイルマッサージのスキルアップにつながる「筋解剖学」の知識を伝える当連載。
新型コロナウイルスの影響で自宅での自粛生活が中心となったことで、
DV(家庭内暴力)、離婚、いじめ、うつ症状などが増加しています。そこで今回は、
心と身体に真正面から取り組む「プロのタッチ」の技術と、皮膚へのアプローチ法を解説します。

國分利江子 ◎文 アメリカ・ニューヨーク州政府認定マッサージセラピスト

